



瀬戸 三代 議員
(あすなろ)



和倉温泉

一般質問

■和倉温泉の復活について

和倉温泉の「復活」なしに
能登の「復興」はない！

質 ①雇用調整助成金の継続延長と支援拡大について、現在の状況を伺う。

②温泉配湯管修復費用の全額支援について、市独自の支援や能登半島地震復興基金での対応が可能か伺う。

③支援業者や公費解体業者の和倉温泉への宿泊が、能登全体の復旧活動に貢献し、宿泊施設の本格営業前にも役立つと見込んでいたが、宿泊施設の稼働率は低迷している。その理由を伺う。

答 ①事業者の事業継続と雇用確保は深刻な状況であり、雇用調整助成金について国・県に要望を行っている。現在、国では制度の議論が続いており、動向を注視する。

②温泉配湯管修復は、復興基金の対象ではないが、各旅館に引き込む配湯管の修復に、なりわい再建支援補助金が活用でき、市独自の上乗せ支援もあるので利用していただきたい。

③和倉温泉宿泊施設の稼働率低迷については「個室での利用希望が強く、一人一部屋の場合利用料金の条件が一致しないこと」や「奥能登で仮設の宿泊施設が整備されたこと」が要因と考える。温泉組合や行政ができる限りの支援と情報発信を行い、宿泊客の増加に努めたい。

一般質問

■災害公営住宅について



山花 剛 議員
(無会派)



自宅の再建が困難な方への対応を伺う。

質 6月会議において災害公営住宅建設のため「住まいの再建意向調査」を行うとの答弁であったが、進捗状況を伺う。仮設住宅ではコミュニティの形成に苦労があったと聞く。災害公営住宅では、震災前に居住していた地域でまとめるなど配慮が必要と考えるが、地域コミュニティに合わせた提供は考えているのか。また、災害公営住宅のほか市としてどのような計画があるのかを伺う。

答 現在、仮設住宅、みなし仮設住宅の入居者を含む七尾市全世帯を対象とした、今後の住まい、まちづくりに関するアンケート調査を実施し、集計しているところである。集計結果と確災証明の全壊戸数や地域の要望を踏まえ、建設場所や戸数を検討したいと考える。仮設住宅の中にはモバイルハウスやムービングハウスといった移動可能な住宅があり、恒久的な住宅として活用できないか県やメーカーと相談している。ただし、住宅本体及び設置費、移設費用等の価格面でも懸念があるため協議を行っている。住宅再建には高額な費用が伴うために、能登半島地震復興基金を活用して、負担軽減となる新たなメニューを検討していきたい。